



GUPIPO

愚 人 間

無価値を価値へ変える



Abstract

愚人間（GU IPO）は、デザイナーズトイ（ソフビ）製造をブロックチェーン技術と融合させた実験的プロジェクトである。本プロジェクトは「無価値から価値を創造する」という逆説的なアプローチを採用し、従来のICOモデルに依存せず、実需に基づいた価値の積み上げを目指す。



Introduction

＞ プロジェクトの背景

暗号資産市場においては、投機的価値に依存したプロジェクトが乱立している。GU IPOは、この現状に対するアンチテーゼとして、「無価値」を出発点とし、実体のある価値創造を通じて持続可能なエコシステムの構築を目指す。

無価値からのスタートを逆転の武器とする「実験型プロジェクト」として機能し、成功の定義を根本的に問い直す。GU IPOは「努力の本質」を正面から語る、きわめて哲学的なトークンプロジェクトである。



> ミッション



無価値を価値へ変える



本プロジェクトは、以下の4つの信条を根源理念「愚人間の信条」として掲げる：

努力の隠匿性

「努力はうんこだ。毎日するが、誰かに見せるものではない」—目立たない継続的な行動の価値を重視し、派手なマーケティングや見せかけの成功ではなく、地道な積み重ねこそが真の価値を生む。

困難の蓄積

「光ではなく闇をどれだけ背負ったかで価値が決まる」—失敗や挫折の経験こそが、真の価値を生み出す源泉である。華やかな成功の裏にある苦闘を尊重する。

主体的な決断

「正解を選ぶ人間ではなく、選んだ道を正解にする人間が、愚人間プロジェクトの住人」—自分の選択に責任を持ち、それを成功へ導く姿勢を重視する。

遊び心への本気

「遊びに本気になれない人間は、人生にも本気になれない」—デザイナーズトイという「遊び」の領域に全力で取り組むことで、真の価値創造を実現する。

> 愚人間の哲学

これらの哲学は、短期的な利益追求ではなく、長期的な価値創造へのcommitmentを示している。GU IPOは単なるトークンではなく、生き方そのものを問うプロジェクトである。



Token Economics

> トークン仕様

項目	詳細
トークン名	GPT (GU IPO Token)
規格	BEP-20 (Binance Smart Chain)
総発行枚数	1,000,005,963 枚

> 5963 = ご苦労様

総発行枚数のうち5,963枚は「ご苦労様トークン」として、開発者への功労分として割り当てられている。この数字「5963（ゴクロウサン）」は、日本語の語呂合わせに由来する。

> トークン配分

40%	コミュニティ・リワード 400,000,000 GPT	20%	開発資金 200,000,000 GPT
15%	運営・監査 150,000,000 GPT	10%	パートナーシップ 100,000,000 GPT
10%	リザーブ（予備資金） 100,000,000 GPT	5%	チームロック 50,000,000 GPT



配分の設計思想

40%

コミュニティファースト
分散化とエンゲージメントを最優先

20%

持続可能な開発
長期的な技術革新を担保

15%

透明性の確保
外部監査とガバナンスを強化

10%

戦略的パートナーシップ
エコシステムの拡大を支援

10%

リスク管理
不測の事態に対応

5%

チームインセンティブ
長期的なコミットメントを確保

> 設計の詳細

コミュニティ・リワード（40%）

プロジェクトの成長はコミュニティなしには成り立たない。エアドロップ、ステーキング報酬、コンテンツ作成報酬など、多様な形でコミュニティに還元する。分散化を促進し、一部の大口保有者による支配を防ぐ。

開発資金（20%）

スマートコントラクトの改善、新機能開発、セキュリティ監査、インフラ整備などに充当。長期的な技術革新を担保し、プロジェクトの競争力を維持する。

運営・監査（15%）

外部監査機関による定期的なセキュリティ監査、法務対応、運営コストに充当。透明性の高い運営を実現し、ユーザーの信頼を獲得する。

パートナーシップ（10%）

ソフビメーカー、アーティスト、他のブロックチェーンプロジェクトとの連携に使用。エコシステムの拡大と相互送客を実現する。

リザーブ（10%）

市場の急変、セキュリティインシデント、予期せぬ機会への対応資金。プロジェクトの安定性と柔軟性を担保する。

チームロック（5%）

創設チームへの報酬は最小限に抑え、長期ロック（3年以上）を設定。短期的な売り抜けを防ぎ、プロジェクトへの長期コミットメントを示す。



Value Proposition

> ユニークなポジショニング

GU IPOは、以下の点で他のプロジェクトと差別化される：



実体資産との連携

デザイナーズトイ（ソフビ）という実体のある製品と連携



100なしモデル

投機的な資金調達に依存せず、実需から価値を構築



文化的価値

日本のサブカルチャーへの深いリスペクト



長期成長戦略

BTC評価を基準とした5.55倍の成長ポテンシャル

> 将来価値想定

本プロジェクトは、BTC評価を基準とした長期的な価値成長を想定している：

指標	現在	目標
BTC評価	1 BTC = 1,800万円	1 BTC = 1億円
成長倍率	約5.55倍の成長ポテンシャル	

> なぜ「無価値」から始めるのか

多くのプロジェクトが過大評価からスタートし、期待を裏切る。GU IPOは逆のアプローチを取る。「無価値」からスタートすることで、すべての成長が純粋な価値創造となる。失望ではなく、驚きを提供する。



Roadmap

GU IPOプロジェクトは、5つのフェーズで構成される段階的な発展計画を持つ。

Phase 1

夜中の夜明け (Year 0)

『∀ガンダム』第27話「夜中の夜明け」に由来

「無価値トークンとしての誕生」は破壊ではなく「覚醒」の始まりを象徴する。このフェーズでは、プロジェクトの基盤構築と初期コミュニティの形成に注力する。

- * トークンのデプロイと初期配布
- * コアコミュニティの構築
- * 基本的なスマートコントラクトの実装

Phase 2

ZS01 (Year 1-2)

『攻殻機動隊』のプロジェクト2501に由来

データ蓄積期間として位置づけられ、「情報の海から価値へ変貌する」段階である。

- * ユーザーデータとトランザクション分析
- * エコシステムパートナーの拡大
- * ソフト製造プロセスとのブロックチェーン連携実証

Phase 3

ダインスレイブ (Year 2-5)

「価値証明のための戦い」

蓄積されたデータを武器に、プロジェクトの価値を市場に証明していく戦略的フェーズ。

- * 実用的なユースケースの確立
- * 収益モデルの実証
- * グローバル市場への展開



Roadmap

Phase 4

ミタス (Year 5~)

『機動戦士ガンダムUC』に由来。「可能性に揺らぐ未来」

真実を世界に問い続ける段階であり、プロジェクトの社会的インパクトを拡大していく。

- * DAO（分散型自律組織）への移行準備
- * 社会貢献プログラムの展開
- * 次世代技術の研究開発

Phase 5

完全分散化・アークライト（最終段階）

「価値が人の手を離れ、仕組みとして自走」

プロジェクトから「文明」へ進化する究極的な目標。

- * 完全なDAO化の実現
- * 自律的なエコシステム運営
- * 創設者からコミュニティへの完全な権限移譲

> フェーズ名の由来

各フェーズ名は、日本のアニメ作品（∀ガンダム、攻殻機動隊、機動戦士ガンダムUCなど）からインスピレーションを受けており、GUIP0の日本サブカルチャーへの深いリスペクトを表現している。



Technical Architecture

＞ ブロックチェーン選択理由

Binance Smart Chain (BSC) を採用した理由：



低トランザクション手数料

マイクロペイメントやリワード配布に適切



高速トランザクション

ユーザーエクスペリエンスの向上



EVM互換性

既存のEthereumエコシステムとの互換性



広範なウォレットサポート

MetaMaskなど主要ウォレットとの互換性

＞ スマートコントラクト

BEP-20規格に準拠したスマートコントラクトを実装し、以下の機能を提供：

機能	説明	ステータス
標準トークン転送	BEP-20準拠の転送機能	実装済み
バーン（焼却）	トークン供給量の調整機能	実装済み
ステーキング	トークンロックによる報酬獲得	将来実装予定



Governance

> 現行ガバナンス

プロジェクト初期段階では、コアチームによる意思決定を行いつつ、コミュニティからのフィードバックを積極的に取り入れる。透明性を確保するため、重要な決定事項は公開し、コミュニティとの対話を重視する。

> 将来のDAO移行

Phase 5において完全なDAO化を目指し、以下を実現する：

提案・投票システム

トークンホルダーが提案を作成し、コミュニティ全体で投票。一定数以上の賛成で実行される。

トレジャリーの分散管理

プロジェクト資金をマルチシグウォレットで管理。単独での資金移動を防止。

透明性の高い意思決定

すべての提案、投票結果、資金移動をオンチェーンで記録。完全な透明性を実現。

> 段階的な権限移譲

いきなりの完全分散化はリスクが高い。GUPIDOは段階的に権限をコミュニティに移譲し、安全かつ確実にDAO化を進める。創設者の影響力を徐々に減らし、最終的にはコミュニティが完全に自律運営できる状態を目指す。



Disclaimer

本ホワイトペーパーは情報提供を目的としており、投資助言を構成するものではない。暗号資産への投資にはリスクが伴い、投資元本を失う可能性がある。投資判断は自己責任において行うこと。

Conclusion

GU IPOプロジェクトは、「無価値から価値を創造する」という挑戦的なビジョンのもと、デザイナーズトイ文化とブロックチェーン技術の融合を目指す。

> 3つの柱

100に依存しない持続可能なモデル
段階的なロードマップ
コミュニティファーストの姿勢

これらにより、長期的な価値創造を実現していく。

> Contact / Links

<https://note.com/gupipo>

This whitpaper is subject to updates and revisions as the project evolves.